

2025年に向けた対応方針について

<参考>
民間医療機関作成資料
イメージたたき台

作成日								
医療機関名称	〇〇病院			開設者	医療法人〇〇			
所在地								
医療機関の現状								
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計	
	許可病床数						0床	
	稼働病床数						0床	
病床機能 (H29病床機能報告)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	
	許可病床数						0床	
	稼働病床数						0床	
診療科目								
職員数	医師： 人、看護職員： 人、〇〇職： 人、〇〇職： 人、事務職員： 人							
指定・届出等の状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに〇)	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養後方支援病院				
	(床)	(床)	(床)					
自院の得意分野・特色、特筆すべき事項等 <任意>								
課題等	<p>地域において今後担うべき役割を検討するにあたり、自施設の持つ課題を整理し、記載。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療需要の減少が見込まれること、近隣の〇〇病院との機能の一部重複があることから、現状の体制を維持するべきか否か、検討が必要 地域で不足している、急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機関の整備に向けて、当院の役割の再検討が必要 等 							
今後の方針								
今後地域で担う役割等	<p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していく 地域における回復期機能の一翼を担う 等 							
病床機能 (2025予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計	
							0床	
病床機能の変更を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に不足する回復期機能を提供するため、7階A病棟を急性期から回復期に変更(〇年〇月予定) 病棟機能の変更に伴い、リハビリテーション室を1室作成(2病室を廃止) リハビリテーション室の増築に伴い、病床数を減少(40床→30床)(〇年〇月予定) 〇年を目途に予定している老朽化に伴う建替えに合わせて、稼働率を勘案し、〇〇病床を減床、地域包括ケア病棟を新設。 							

診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	(具体例) ・ 近隣の〇〇病院との機能の重複があるため、△△科を廃止(〇年〇月予定) ・ 地域における△△科の患者については、協議の上、〇〇病院で対応していただく方針 ・ 構想区域内に提供施設がないため、□□科を新設(〇年〇月頃予定) ・ □□科については、隣接する構想区域の▽▽病院と提携し、人員を確保
---	--

その他・自由記載欄	
-----------	--

数値目標等<任意>

項目	現状	目標	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率			
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			
...			

他病院との連携状況等について(調整中)

主な受入元 (医療機関・施設名)	①救急搬送 ②〇〇病院 ③〇〇病院
主な退院先 (医療機関名・施設名)	①〇〇病院 ②〇〇老健 ③在宅
特に力を入れている疾患等	脳血管障害、〇〇
入院・対応不可の疾患等	
...	